会長の時間　　令和５年５月２９日第２０９０回例会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　田中和俊

　イマジンロータリー！本日は、本年３月２１日にご逝去されました林良昭会員のご家族のみなさま、林文子様、花田博実様、花田愛子様に例会に来ていただいております。今般、林文子様からは、我々鹿児島中央ロータリークラブに対し、多額のご寄付をいただきました。これまでも林会員からは幾度となく我々中央ロータリークラブにはご寄付をいただいておりました。今回もこのようなお話をいただき誠に恐縮ではございましたが、折角のお申し出でございましたのでお受けいたしました。

　林会員といえば、やはり当クラブが財政難の時代に第２５代クラブ会長を務められ、立派に２５周年事業を成し遂げられたということではないでしょうか。私が入会する前のことでございますので、諸先輩方からお聞きしたことではありますが、当時の事務局の不祥事により財政難に陥ったことがあったと。その時に志賀会長・重久幹事、丸元会長・尾堂幹事、林会長・尾辻幹事の３年間で立て直したということであります。財政難のためなのか２５周年記念誌というのは手元にはありませんでしたので、創立３０周年記念誌の林会員の「歴代会長の思い出」から当時の林会員の思いをたどってみたいと思います。タイトルは「ゼロからの出発２５周年」とあります。「故・志賀達一氏の会長の折、強い要請を受け丸元会長の後を引き継ぐことになりました。卓越した丸元、尾堂年度の後だけに不安の中での船出でした。何よりも創立２５周年行事が計画されていたのですが、全くゼロからの出発となったショックは忘れることが出来ません。汚名返上を期し会員一丸となって対応、海江田ＰＧを実行委員長に大須君の敏腕な指揮の下、準備が進められ、平成１４年１月１４日、式典を南日本新聞社「みなみホール」で開催する運びとなりました。セ釜山ＲＣからの多数の訪問団、関係各位のご参列を得て、簡素な中に盛大に那覇西ＲＣとの友好盟約締結、会津若松西ＲＣとの盟約延長の調印式もすませることが出来、生涯忘れ得ぬ感動を覚えました。会員相互の英知と力の結集のたまものです。中央ＲＣの底力、脈々と伝わる絆の尊さを知らされ、誇りに思いました。」とあります。幹事の尾辻会員のコメントや前年度の丸元会長のページにも財政が苦しい中でのクラブ運営、記念事業遂行の大変さがうかがえます。退会者も続出し財政苦しい中で成し遂げた那覇西ＲＣとの友好盟約締結、そして記念式典。林会員が生涯忘れ得ぬと表現した成し遂げたあとの感動を私も文面から感じ取ることが出来ました。これから我々も創立５０周年に向けてクラブ一丸となって頑張っていかなければならないと決意を新たにすることでございます。林会員のことは我々は永遠に忘れません。林文子様、花田博実様、花田愛子様、本日はご出席賜り誠にありがとうございました。